

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第77号

今度は区民税も年金から天引き!

天引きのためのシステム改修に6000万円 共産党は改修経費含む補正予算に反対



長期計画への意見公募・パブコメは、今後10年の区政運営指針を決めるものなのに11月10日までのわずか一ヶ月。短すぎませんか?



漫画: 安藤たい作

介護保険料では、国保料でしょーなど、住民税。はい残り。スリッパ。年金袋。ガビ。誰か決まらん。

められる「納税に、主権者として自らの税額を申告し、確定し、どのような方法で納税するかを自らの意思で決められる」納税

消えた年金、後期高齢者医療制度・・・国民の命と暮らしを顧みない政治が、徴収側の論理だけで住民税までも天引き、そこに6000万円を投じる。区民の理解は到底えられません。中止すべきです。

暮らしも権利もおびやかす
事前の申請や本人同意も行わず、一方的に開始する天引きは、強制徴収そのもの。国民は納税の義務を負うとともに、主権者として自らの税額を申告し、確定し、どのような方法で納税するかを自らの意思で決められる「納税

- 【住民税年金天引きの内容】
- ◆来年(2009)10月から開始
 - ◆65歳以上の課税されている公的年金受給者が対象
 - ◆社会保険庁との住民情報のやりとりを電子化するシステム改修費用に、6000万円
 - ◆希望者は口座振替に切り替えるなどの選択は不可、選択の余地なし

今月からの後期高齢者医療保険料に続き、住民税まで来年10月に年金天引き。今年4月に自公与党が決めたものです。今年からの後期高齢者医療保険料に続き、住民税まで来年10月に年金天引き。今年4月に自公与党が決めたものです。今年4月に自公与党が決めたものです。今年4月に自公与党が決めたものです。

区内で住民税年金天引きの対象となる方は約3万人ですが、年金のみ収入の単身者では、年間155万円、月額にすると12万9000円で課税対象です。また、公的年金受給者で何らかの理由で区民税を滞納する469人のうち437人、93%は、年収200万円以下。天引きになれば、このような納期通りの納付が困難な方々に対する納税相談の機会が奪われることに。生活保護基準を下回る収入の方から区民税を強制徴収し、相談の機会すら奪うことは、高齢者の生存権を犯します。

天引きは中止を

第三回定例議会は最終本会議を終え、10月22日に閉会。共産党は、住民税の年金天引きする費用6000万円を含む、補正予算に反対。私(安藤)は、反対討論を行いました。内容を紹介します。

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。

お知らせ

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作
ニュース 裏面

11月の

無料
なんでも
法律相談会

11月11日(火)
夜7:00~9:00
安藤たい作西品川事務所
(品川区西品川3-16-3)
TEL:03-3491-3230
大崎駅より徒歩8分

①弁護士さんと一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください。
②当日直接お越しいただいても結構ですが、お待ち頂くこともあります。事前に電話を入れた上、ご参加いただけると確実です。
(平日日中:5742-6818)
(土日は:3491-3230)

「信号機設置を」生活と健康を守る会と大崎警察に交渉しに行きました

大崎5丁目の大崎陸橋下の横断歩道では、再開発の進行にともない、大崎駅西口から山手通りへ出る車と、逆に山手通りから大崎陸橋の下を通過し大崎駅西口へ抜ける車の交通量が急激に増えています。近くの大崎都営住宅にお住まいの車椅子の方などから信号機を設置してほしいとの要望が出されていました。10月21日、生活と健康を守る会の大崎5丁目都営班の方と一緒に大崎警察と交渉。交通課の課長・係長さんに対応して頂きました。

【横断歩道を通行する車両の交通量調査】

*生活と健康を守る会実施

【実施日】2008年10月2日(木)

①午後2~3時 ②午後3~4時

トラック(小型含む)	212台	180台
乗用車	285台	380台
オートバイ	57台	59台
計	554台	計619台

*約6秒に1台、車輛やオートバイが横断歩道を通過した計算です。

守る会の方は、独自に行った交通量調査(左表参照)を示しつつ「現地はカーブの上、近くのスーパーの納品車両なども停まり、車からは見通しが非常に悪い」「交通量は多いが、教習車以外は一時停止を行っていないのが現状」「工事車両のダンプは車高が高く、座席からは小学生が見えにく

い。調査中も何度か危ない場面も目撃した」とリアルな実態も伝え、「実情を知り、早期の信号機設置をお願いします」と要請しました。

警察側は「現地ではすでに車両が並んでいる状態も見受けられ、交通渋滞になる恐れもある」「交通量がある程度以上でないと、信号機を設置することでかえって危険になるケースもある」と慎重な姿勢でしたが、「これから交通量が多くなることは認識している」とも。最終的には「現地は陸橋など複雑な道路環境でもあるので、まずは専門部署や道路管理者などの関係機関とも相談し、調査をします」との回答がありました。

高齢化の進行や、環境意識の高まりなど、車中心の社会そのものが見直されてきています。住民の皆さんと住民にとって最適な住環境をこれからも求め行動していきたいと思えます。



守る会の皆さん。交渉後、大崎警察署前で。